

【R4】東京郊外における地域のプレイヤーと連携した空き家の発掘と活用 (株式会社スピーク)

発表資料

多摩地域の各エリアで地域活動を展開するプレイヤーと連携することにより、それぞれの地域に密着した活動の中から空き家を発掘し活用につなげるため、体制を構築。8つの事業者等と連携体制をつくり活動を実施し、今後も継続的にプレイヤー開拓と連携を行うための仕組みを構築した。

■ 事業概要

事業部門	部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	多摩地域(東京都下、および隣接する地域)
背景・課題	高齢化による空き家の発生が多いが、高齢者はイベントなどへの能動的な参加が期待しづらいため、効果は限定的 東京の郊外エリアでは、コミュニティビジネスやNPOなど、地域に密着した活動が他の地域に比べて盛んである
目的	多摩地域における空き家の発生抑制と活用を、各エリアで地域活動を行う事業者や団体等と共同体制を構築することにより実現すること。またこの共同体制を、連続的に複数のプレイヤーと構築するための手法・体制を、多摩地域で活動する「けやき出版」(東京都立川市)との協業において実現すること。
連携する団体・役割	株式会社けやき出版(役割:地域活動を行う事業者や団体等との共同体制の構築)

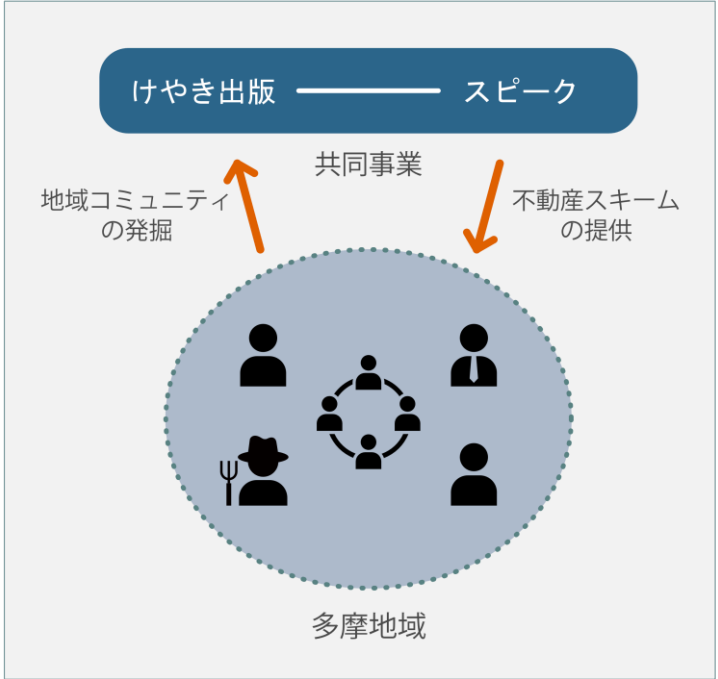
1. 多摩地域に根差した活動をする「けやき出版」との協業体制の構築

多摩地域に特化した活動を40年以上行ってきた実績を有する「けやき出版」の持つ多摩地域での関係を生かし、各エリアのプレイヤーとの関係を構築し、それを空き家の発掘や活用につなげることを目指した。



けやき出版

多摩地域専門の出版社。活動内容は書籍や雑誌の発行、自治体や企業の刊行物の制作、地域や企業のブランディング、広告の制作、施設などの運営と幅広く、地域の魅力を高め、発信している。多摩の情報誌『たまら・び』を100号以上にわたり発行。



2. けやき出版と連携したプレイヤーの開拓およびその手法の構築

けやき出版が有する地域プレイヤーとの関係をもとに、空き家活用とそこから派生する事業での共同体制を構築するためのプレイヤー開拓を行った。

開拓の手法としては、当社とけやき出版で「キテン事業部」と名付けたプロジェクトを立ち上げ、参加する地域プレイヤーを募った。募集はイベント形式で行い、事業説明会や参加者とのワークショップなどにより活動の意義とその後の展開のイメージを伝えた。当社とけやき出版の持つメディアやSNS、その他の発信チャネルを生かし、多摩の全域から広く参加者を集めることができた。またそれ以外に各プレイヤーへの個別アプローチも行った。

イベントの実施：2回

参加事業者：20組程度

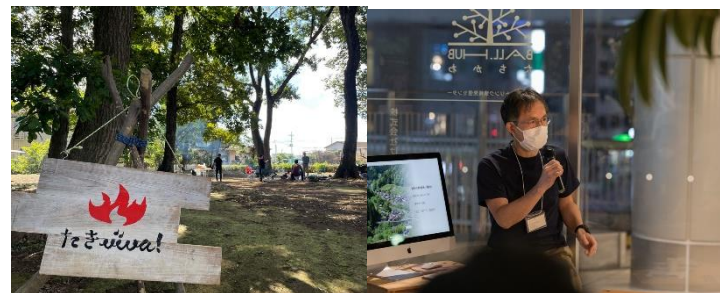
情報発信：各社ウェブサイト、SNS、メールマガジン、関連イベントでの告知

3. 開拓したプレイヤーとの関係構築

「キテン事業部」によるイベントや、個別アプローチで得られたプレイヤーとのつながりを、各地域でのプレイヤーを核にした事業展開や空き家対策の活動に展開することを目的に、各プレイヤーと個別に打ち合わせや企画立案などを行い、具体的な活動に向けた関係構築を行った。

【プレイヤーの例】

- ・ 地域で複数の飲食店を展開する事業者（西東京市、武蔵野市）
- ・ たき火プロジェクトやコミュニティデザインの事業者（東大和市、小平市）
- ・ 林業を軸にプロダクト開発やイベントなど行う事業者（檜原村）
- ・ 寺を中心に保育、文化活動を行なう事業者（町田市）
- ・ コミュニティの組成、運営を行う事業者（西東京市、東久留米市）
- ・ 農業を中心に地域活性化を行う事業者（西東京市）



4. 空き家発掘や活用の手法・ノウハウのプレイヤーへの提供

プレイヤーがそれぞれの活動地域で空き家を発掘し、発掘した空き家を活用につなげられるよう、発掘の方法や、活用の手法などについて情報やノウハウを提供した。本事業においては、プレイヤーが日常的に行っている活動と連携する形で、空き家の活用や地域の活性化について地域の人たちに伝えることを目指しており、それぞれの活動の特性を生かした空き家活用の方法について、各プレイヤーと議論や意見交換、仮設の組み立て、活用事例の紹介、空き家活用による地域活性化のビジュアルイメージ化などを行った。また空き家の案件が出てきた際に同行し、具体的な活用提案の実施なども行った。

【実施内容の例】

- ・ 空き家の活用提案 4件
- ・ 活動の仮説組み立て、スキーム提案 4件
- ・ 地域活性化のビジュアルイメージ作成 2件
- ・ 特殊性の高い手法による空き家活用のスキーム提案



5. プレイヤーによる空き家開拓のサポート

各プレイヤーが継続的に空き家の開拓に取り組める状態になることをめざし、各地域での活動のサポートを行った。自治会と連携した空き家活用についての情報発信や、自治体と連携したセミナーや情報発信、信用金庫などに対する企画提案、商工会などと連携した商店街の空き家活用など、地域やプレイヤーの特性に合わせた提案などを行っている。

【実施内容の例】

- ・ 自治会へのアプローチと、課題のヒアリング、対策の検討
- ・ 自治体や信用金庫などとの関係構築のサポート
- ・ 商店街での空き家活用のサポート



6. 取り組みについての情報発信

当社とけやき出版の持つメディアやSNS、その他の発信チャンネルを生かし、本事業での活動や、各プレイヤーについての情報や活動内容を広く発信した。それにより継続的なプレイヤーの開拓と、空き家活用に対する認知の向上、具体的な案件の発掘などを目指した。

【実施内容の例】

- ・ウェブサイトでの継続的な情報発信
- ・けやき出版の雑誌『BALL.』での特集ページによる発信
- ・SNS、メールマガジンなど
- ・各プレイヤーの刊行物などでの発信



7. 空き家活用に向けたイベント・相談会等の実施

一般的な空き家セミナーなどに加え、まち歩きなどを組み合わせた地域への関心の向上の取り組み、地域活性化や地域課題を考えるトークイベントなどを実施した。これにより若年層から高齢者まで広い世代に空き家活用の意義を伝えることを目指した。またセミナーなどでは単なるイベントとしてだけでなく、各プレイヤーの活動の地域での認知向上による継続的な活動を目指した内容とした。

【実施内容の例】

- ・自治体との連携による空き家セミナー、相談会の実施
- ・各プレイヤーの拠点などでのトークイベント
- ・まち歩きイベントによる空き家活用の機運醸成

